

第 40 回 ヒューマン・アニマル・ボンド心理学研究会（HAB 心研）のご案内  
日本動物看護学会第 61 回例会・ヒトと動物の関係学会第 124 回例会

ヒューマン・アニマル・ボンド心理学研究会・代表  
安藤孝敏（横浜国立大学）

下記のとおり、第 40 回の HAB 心理学研究会を開催いたします。ヒューマン・アニマル・ボンド研究（ヒトと動物の関係学）に関心のある方ならどなたでも参加していただけますので、お誘いいただければ幸いです（参加無料）。なお、会場の設定や資料などの用意もありますので、参加希望はメール（[hab.shinken@gmail.com](mailto:hab.shinken@gmail.com)）にて、2月11日（月）までにお知らせくださいますようお願い申し上げます。

【記】

- 日時：2019年2月15日（金） 午後6時～午後8時まで
- 場所：桜美林大学四谷キャンパス（千駄ヶ谷）1階ホール  
（東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 TEL：03-5413-8261）
- 内容：話題提供

『GMaC プログラムー八街少年院での動物を介在した矯正プログラム』（仮）

中村 透（公益財団法人ヒューマニオン財団 GMaC プログラム インストラクター）

中島 央如<sup>てるゆき</sup>（八街少年院 教官）

GMaC プログラムとは、千葉県八街少年院で 2014 年より開始された、少年院の少年たちが保護された犬を訓練する動物を介在した矯正プログラムです。“Give Me a Chance”の頭文字をとって GMaC と名づけられたこのプログラムは、保護された犬、犬を訓練する少年、そしてその犬たちを引き取るセカンドオーナーとすべての人たちに恩恵をもたらすものです。今回は現在 10 期に入ったこのプログラムのインストラクターである中村氏と八街少年院で GMaC を担当される中島教官においでいただき、それぞれの立場からお話しいただきます。

